

News Release

PR NO-25

2013年12月2日
サンテプラス株式会社

究極のオペラグラス「カブキグラス」に高級版誕生

日本の光学技術の粋を集めた「カブキグラス」®に

ニッポンの伝統工芸「24K金沢の純金箔」「吉田華正の蒔絵+加賀山中の漆」の美が融合
～劇場好きの経営者が商品化。12/1（日）に日本橋三越本店と、自社直販サイトで発売開始～

光学機器とフィットネス器具を製造・販売するサンテプラス株式会社（本社：東京都渋谷区。代表取締役社長 坂田直明）は、国産技術の粋を集めた究極のオペラグラス「カブキグラス」（特許申請済・意匠登録済・商標登録済）に金箔や蒔絵、漆など伝統工芸の美を融合した「高級版」を日本橋三越本店（本館4階スポーツ&トラベル）とサンテプラスの直販サイト（www.kabukiglasses.com）で12月1日より発売開始いたします。

最高級の4倍光学ガラスレンズを使用、オートフォーカス機能のある「カブキグラス」を使うことで舞台までの距離が1/4に近づいて見え、遠い席でも舞台との一体感や臨場感を感じることができます。歌舞伎やオペラなどを楽しむ人が増え、日本に舞台文化が根付くことを目指し、また劇場文化の盛んな海外への発信もしていきます。



カブキグラスの装着イメージ

【カブキグラスに使われている伝統工芸】

① 24K金沢純金箔

最も価値があり、最も貼ることが難しいと言われる24K純金箔を、金沢の職人が鏡筒部分に手貼りしました。

② 加賀蒔絵師「吉田華正」の蒔絵+漆

加賀蒔絵師の吉田華正が秋の象徴「紅葉」と春の象徴の「桜」を描いた「雲錦」（うんきん）と、晩夏から初秋にかけて、早朝に富士山が朝日に染まって起こる「赤富士」を手描きしました。

石川県加賀市山中に在住の茶道具の職人、吉田華正の製作。文字通り職人手造りの作品です。三大漆器の産地、加賀山中の漆を「漆芸よした」の職人が手塗りしています。

* フレーム部分の黒色は、漆ではありません。



メディアからの問い合わせ先

サンテプラス株式会社 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-11-2 アイオス広尾ビル 6階
Tel. 03-3441-2125 Fax. 03-6800-7035 メール：info@santepius.jp URL：www.kabukiglasses.com

【カブキグラスの機能性】 あなたの席をアップグレード

① メガネ式で両手が自由に（軽量 92g）

両手が自由に使えるから拍手も可能です。92g と軽量で、重さを分散する構造に。手ブレもなし。

② 自動ピント調整（オートフォーカス）

眼の調節機能を活かして、自動でピントが合います。動きの激しい舞台やスポーツ観戦でも大事なシーンを見逃すことはありません。注）極度の近視、老眼、遠視の方は、うまく見えない場合がありますので、取扱店舗で、お試しください。

③ 明るくクリア&広い視野角

明るさ 11、視野角 13°、クリアで濁りのない最高級の 4 倍光学ガラスレンズを使用。倍率は、200 回を超える観劇経験から生まれた理想の倍率 4 倍率です。

④ 本格仕様

片方の筒にレンズ 5 枚とプリズム 2 枚が入った本格仕様。見やすさ、明るさにこだわり、レンズはすべてガラスをコートしています。



カブキグラス®

高級版

雲錦 (うんきん)

100,000 円 (税別)

秋を象徴する紅葉、春を象徴する桜。

*製造番号付き

加賀蒔絵師 吉田華正の蒔絵

巨匠の手描き作品 「雲錦」「赤富士」

<吉田華正 (よした かしょう) 経歴>

1990 年 全国漆器展 日本放送協会会長賞受賞

2004 年 山中町産業功労賞受賞

2007 年 石川県伝統産業優秀技術者賞受賞

石川県加賀市山中に在住の茶道具の職人。三越日本橋本店を始め、三越各店、全国各地百貨店にて個展開催。

24K 金沢純金箔

国内の 99% の金箔を製造する石川県金沢市の伝統工芸。金沢市の職人が、金箔の中でも、最も価値があり、最も貼るのが難しい 24K 純金箔を鏡筒部分に貼った。

加賀山中の漆

三大漆器の産地、加賀山中の漆。「漆芸よした」で、吉田華正が塗り天然漆にこだわった、文字通り職人手造りの作品。* フレーム部分の黒色は、漆ではありません。

メディアからの問い合わせ先

サンテプラス株式会社 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-11-2 アイオス広尾ビル 6 階

Tel. 03-3441-2125 Fax. 03-6800-7035 メール: info@santeplus.jp URL: www.kabukiglasses.com



カブキグラス®

高級版

赤富士 (あかふじ)

100,000 円 (税別)

晩夏から初秋にかけて、早朝に富士山が朝日に染まって起こる「赤富士」。伝統的な蒔絵の絵柄。
*製造番号付き

究極のオペラグラス 「カブキグラス®」 とは。。。。



希望小売価格 30000 円 (税別) Website: www.kabukiglasses.com (サンテプラス株式会社)

【発売時期】 2013 年 3 月 27 日に発売開始。

【主要取扱店舗】 日本橋三越本店 伊勢丹新宿店メンズ館 名古屋栄三越 JR大阪三越伊勢丹 明治座 他

【メディア掲載歴】 テレビ東京WBS「トレたま」 NHKおはよう日本「まちかど情報室」
朝日放送「おはよう朝日です」 フジテレビ「アゲるテレビ」 日経MJ フジサンケイビジネスアイ
産経新聞 三越M CARD 通信 文化放送 ラジオニッポン TOKYO FM ニッポン放送、他多数。

【カブキグラス特長】 <ハンズフリーで手ブレなし><自然にピント調整><超クリアな視界><軽量 92g>

【特記事項】 国内&海外特許(PCT)申請済 意匠登録第 1473314 号

商標登録第 5528654 号 第 5528655 号 第 5528656 号 第 5567333 号

メディアからの問い合わせ先

サンテプラス株式会社 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-11-2 アイオス広尾ビル 6 階

Tel. 03-3441-2125 Fax. 03-6800-7035 メール: info@santeplus.jp URL: www.kabukiglasses.com

カブキグラス®に関して

カブキグラスは、今年の3月末に発売開始され、大手デパートや劇場などで販売されているヒット商品。サンテプラス代表の坂田が、ロシア駐在時代に、バレエやオペラの劇場文化に魅せられ、観劇回数200回を超えるほどの劇場好きだったため、1997年当時から思い描いていた究極&理想のスペックを2年がかりで開発し、様々な分野のニッポンの匠の協力を得て商品化した。

メガネ式なのが今までにない特長で、カブキグラスを使うことで舞台までの距離が1/4に近づいて見え、遠い席でも舞台との一体感や臨場感を感じることができ、劇場やスポーツ観戦に足を運ぶ人が増えることも目指している。

〈主要取扱店舗〉 日本橋三越本店 伊勢丹新宿店メンズ館 名古屋栄三越 JR大阪三越伊勢丹
明治座 新橋演舞場 表参道バレエショップフェアリー 大和香林坊 りうぼう

〈レンタルサービス採用実績〉 演劇チケット販売サイト「カンフェティ」
明治座



日本の匠
Made by Japan's Craftsmen

圧倒的に明るい&超クリアな4倍レンズ

高性能 ガラスをコートしたレンズ&プリズム

本格的 片方の筒に5枚のレンズと2個のプリズム

軽量92g 装着感にこだわったフレーム&鼻パッド

メディアからの問い合わせ先

サンテプラス株式会社 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-11-2 アイオス広尾ビル 6 階
Tel. 03-3441-2125 Fax. 03-6800-7035 メール：info@santeplus.jp URL：www.kabukiglasses.com

カブキグラス® 誕生秘話

The Story of Kabuki Glasses®

Ya teatral (=私は、劇場好きだ!)

ロシアで劇場文化に魅せられた。ここがカブキグラスの原点だ。

大学卒業後、1996年～97年、研修&仕事でロシアに約2年住んだ。劇場にハマった。バレエ、オペラ、コンサート、サーカス、なんて豊かな劇場文化。ペテルブルグのマリンスキー劇場に50回以上、モスクワのボリショイ劇場にも数多く足を運ぶ。2年で100回以上劇場へ。

「誰が出演するか？」 出演者によって全然違う感動。鳥肌が立つ感動も数回。夢中だった。観た劇のチケットを全部集め、記録に残した。



マリンスキー劇場で (1997)



ロシア時代のチケットとメモ

人気の演目の時は、良い席が手に入らず、遠い席から見ることが多い。「もっと近くで見たい!」と思い、いろんなオペラグラスを試したが、いいものに出会わなかった。その当時にも「ハンズフリーで究極のオペラグラスを作りたい」と思って、ちょっとアクションを起こした。しかし、当時は、粘り腰がなかったため、実現にこぎつけられなかった。その後、大きな転機になったのが東日本大震災。多くの方が犠牲になり、今も苦しみは続いている。「人生一度きり。いつ何があるか分からない。やりたいことをやっておくべき。」と思い、2011年春にカブキグラス開発に着手し、約2年がかりで開発した。

劇場好きな人は、安めの席でも良い席にアップグレードできる感覚になる。焦点も自然に合い、表情や表現も良く見える。もちろん、スポーツ観戦にも使える。試作段階で、劇場やプロ野球観戦で試した。やはり、近くなり、得した気分になる。カブキグラス®誕生により、もっと多くの人が劇場やスポーツ観戦に足を運び、更に文化が成熟していくことを切に願っている。

開発者プロフィール **坂田直明** サンテプラス (株) 代表

1971年東京都新宿区生まれ。立教大学時代は相撲部主将。1995年松下電器産業 (現パナソニック) 入社。2003年フランスHEC経営大学院(MBA)卒業。2006年サンテプラス(株)起業。相撲の「股割り」をヒントに開発したストレッチ器具「フレックスクッション®」がヒット商品に育つ。



【お気に入り】「海賊」「バフチサライの泉」「ドン・キホーテ」「バヤデルカ」「カルメン」「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ルスランとリュドミーラ」「レ・ミゼラブル」。野球&相撲観戦。

メディアからの問い合わせ先

サンテプラス株式会社 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-11-2 アイオス広尾ビル 6 階
Tel. 03-3441-2125 Fax. 03-6800-7035 メール: info@santepius.jp URL: www.kabukiglasses.com

商品スペック

形式	ダハ式
対物レンズ有効径	13 mm
実視界	13°
自動焦点距離	10m~∞
フォーカス	オートフォーカス
重さ	92g
製造国	日本

希望小売価格：30,000 円(税別)

付 属 品：専用持ち運びケース、レンズ拭
取扱い説明書、保証書

特 記 事 項：国内、国外特許申請済
意匠登録第 1473314 号

会社概要

社名	サンテプラス株式会社
所在地	東京都広尾 1-11-2 アイオス広尾ビル 6 階 (電 話) 03-3441-2125 (FAX) 03-6800-7035
資本金	500 万円
代表者	坂田直明
設立	2006 年 5 月 15 日
事業内容	フィットネス器具/光学器具の開発&販売 <開発商品>フレックスクッション® フレックスバレル カブキグラス®
サイト	国内サイト www.santeplus.jp 海外サイト www.flexcushion.com カブキグラスサイト www.kabukiglasses.com

坂田直明のプロフィール (サンテプラス(株)代表取締役)

1995 年 立教大学社会学部社会学科卒業

2003 年 HEC 経営大学院 (フランス) 経営学修士課程 (MBA) 修了

1971 年 生まれ。立教大学時代は相撲部主将。

1995 年 松下電器産業(株) (現パナソニック) 入社。

2003 年 日本ミシュランタイヤ(株)入社。

2006 年 起業。サンテプラス(株)を設立。

ロシア駐在 2 年も含めて、約 5 年、主に旧ソ連諸国の販売網開拓に携わる。ロシア駐在時に劇場にのめり込む。サンクトペテルブルグにある名門マリンスキー劇場には、50 回以上、通った。国内外での観劇回数は、世界 15 カ国で 200 回以上。2003 年から日本ミシュランタイヤ(株)で営業部長等を歴任。2006 年 5 月にサンテプラス(株)を設立。相撲の「股割り」をヒントにしたストレッチ器具「フレックスクッション®」を開発し、フィットネス業界でのヒット商品となる。多くのフィットネスクラブ、プロスポーツチームに採用されている他、海外でも米国でもトップアスリートにも採用されている。相撲道 2 段。2008 年には、立教大学経営学部兼任講師も務めた。

メディアからの問い合わせ先

サンテプラス株式会社 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-11-2 アイオス広尾ビル 6 階

Tel. 03-3441-2125 Fax. 03-6800-7035 メール：info@santeplus.jp URL：www.kabukiglasses.com